

## 岡崎市社会資本整備総合交付金評価委員会議事録

### 1 日時

令和5年1月24日（火） 10:00～11:00

### 2 場所

岡崎市役所 西庁舎7階 702号室  
（オンライン会議にて開催）

### 3 評価委員

出席者

委員長：名城大学教授	鈴木 温 氏
委員：名古屋大学准教授	井料 美帆 氏
委員：名古屋大学准教授	中井 健太郎 氏

### 4 事務局

土木建設部建設企画課課長	市川 正史
土木建設部建設企画課副課長	村井 宣雄
土木建設部建設企画課係長	平岩 美佳
土木建設部建設企画課主査	望月 雅由
上下水道局上下水道部下水施設課係長	福井 勇二
上下水道局上下水道部下水工事課係長	永井 正人
上下水道局上下水道部下水工事課主査	横山 雄人
上下水道局上下水道部下水工事課技師	牧野 雄大
上下水道局上下水道部下水工事課技師	山田 智貴

### 5 傍聴人

なし

### 6 委員会次第

#### (1) 開会

委員長選任

#### (2) 議事

「おかざき下水道普及計画」中間評価

「おかざき下水道施設改築計画（防災・安全）」中間評価

「おかざき下水道強靱化計画（防災・安全）（重点計画）」中間評価

(3) 閉会

7 配布資料

- ・ 事業説明資料
- ・ 中間評価書

8 会議要旨

- (1) 本委員会は、「岡崎市附属機関等の会議の公開に関する要領」第2条に基づき、公開となることの説明
- (2) 委員長の選出、鈴木委員を委員長に選出
- (3) 議事（事務局説明、質疑応答）

9 議事内容

鈴木委員長	「おかざき下水道普及計画」の中間評価について、事務局から説明をお願いします。
事務局	（「おかざき下水道普及計画」の計画の概要と指標、中間時の指標達成状況について説明。）
鈴木委員長	事務局の説明事項でご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。
井料委員	指標を人口普及率で評価をしており、数年程度の短い期間で人口が大きく増減することはないと思うが、例えば、住民が都心に移動してくることによって、人口の分布が変わることによる普及率への影響など、別の要因も含まれていると思う。指標とは別に、予定していた整備延長に対しては、計画通り進んでいるか。
事務局	整備延長としては予定通りに進んでいます。
井料委員	細かく見ると、計画より実績の数値が伸びているが、整備が進んでいることが要因という理解でよいか。
事務局	移住などによる人口分布の変化によるものというよりは、下水道の整備が進み、下水道へ切り替えされたことにより、計画値以上となったと考えている。
中井委員	事業を進めていく中で、順調に進んでの中間評価値か。対策を考えなくてはいけない障害があったが、それを克服しての評価値か。

	<p>計画通り事業が進んでいると思われるが、今後想定外の障害が発生すると、計画期間終了時に指標が計画値を下回るようになってしまいが、想定外の障害などはなかったか。</p>
事務局	<p>今、整備を進めている中で、大きな障害になるような事はありません。</p>
鈴木委員長	<p>令和5～6年に細川町、真伝町を整備していく計画だが、それ以外に今後整備しないといけないエリアはあるか。</p>
事務局	<p>整備するエリアとしては、区画整理で下水道が未整備となっているところや地形上の制約で下水の自然流下ができない排水困難な地域が一部残っているが、地区や町単位で整備するのは、細川町と真伝町を中心に行い、整備が完了していくことになる。</p>
鈴木委員長	<p>「おかざき下水道施設改築計画（防災・安全）」中間評価について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（「おかざき下水道施設改築計画（防災・安全）」の計画の概要と指標、中間時の指標達成状況について説明。）</p>
鈴木委員長	<p>事務局の説明事項でご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。</p>
井料委員	<p>ポンプ場のストックマネジメント計画に基づいて、PDCAサイクルを実施した結果、今回の5資産は対策が不要だと判断したということだが、これは、計画に基づいて点検調査など施設状況の把握を行った結果として、不要であるとの理解でよいか。</p>
事務局	<p>5資産については、点検調査による施設状況を把握した結果を踏まえ、第2期ストックマネジメント計画（R5～9年度）策定時に改築時期を再検討し、第2期に実施することとしている。</p>
井料委員	<p>92資産で、問題無いと判断したこと自体も計画策定の成果という、捉え方もできるか。</p>
事務局	<p>ストックマネジメント計画に基づく点検調査を踏まえての検討によるものと考えられます。</p>

井料委員	長寿命化対策を行った管渠の延長が計画より伸びているが、点検調査により必要だと判断したものなのか。
事務局	管渠についても、ストックマネジメント計画に基づいて、事業をおこなっている。今回実施したのは、陶管の改築である。 陶管は、外的損傷があると壊れやすいため、ストックマネジメント計画で改築することとしている。また、陶管は合流区域で限定的に整備させていることから、予算範囲内で改築が必要な箇所については、改築を進めている。その結果、延長が計画値以上になったものと捉えている。
中井委員	本整備計画は防災・安全交付金で耐震対策を実施しているが、防災・安全という観点で、都市型集中豪雨の対策として下水道管渠の流量不足に対する整備などの改築は防災・安全という中に含まれていないのか。
事務局	本整備計画では、分流汚水・合流施設の改築事業を対象としており、雨水管渠の整備など雨水施設については、下水道強靱化計画（防災・安全）（重点計画）で実施している。
鈴木委員長	「おかざき下水道強靱化計画（防災・安全）（重点計画）」の中間評価について、事務局から説明をお願いします。
事務局	（「おかざき下水道強靱化計画（防災・安全）（重点計画）」の計画の概要と指標、中間時の指標達成状況について説明。）
鈴木委員長	事務局の説明事項でご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。
井料委員	ポンプ場の長寿命化対策で複数事業があるが、「おかざき下水道施設改築計画」と「おかざき下水道強靱化計画」でどのように区分されているか。
事務局	区分としては、雨水施設と汚水施設で分かれている。「おかざき下水道施設改築計画」は、汚水中継ポンプ場の設備を対象としており、「おかざき下水道強靱化計画」は、雨水ポンプ場の設備を対象としている。
井料委員	雨水貯留浸透施設の今後のPRの具体的な内容はどのようなものか。

事務局	雨水貯留浸透施設のPRですが、各家庭での貯留量が少ないため、浸水被害の軽減に効果が分かりづらいですが、浸水対策に貢献していることの意義をPRすることや、申請手続きの簡略化を検討していきます。
中井委員	人孔浮上、耐震について、想定している地震の規模はどのようなものか。現在整備している污水管渠、雨水管渠について耐震性は確保されているか。
事務局	下水道総合地震対策計画で想定している地震のレベルについては、東南海トラフ地震を想定しています。 污水管渠や雨水管渠で使用しているボックスカルバートなど、平成18年度以降に整備した管路については、耐震設計されており、耐震性は満足している。
中井委員	耐震対策としては、人孔浮上などの液状化対策と、管更生などの構造的な耐震対策を行っているということか。
事務局	その通りです。

## 10 結果

今回審議された3件の中間評価案が妥当であることを判断する旨、委員一致で採決された。